

症例検討会

H27年10月店長会議

福光店

施設在宅の多職種連携方法、訪問服薬管理指導をご紹介します。

施設在宅の流れ

私は、複数名の在宅患者を一度に診察しなければいけない施設在宅では、薬剤師が医師や看護師、介護士の負担をできるだけ減らすことができるように、協力し合う事が多職種連携を円滑にする基本だと考えています。

そのために訪問診療の前に、残薬のチェックだけでなく、患者さん一人一人と向き合い、会話をし、自分で感じ取った患者の変化を中心に看護師、介護士から患者の日々の様子を聞きだし、それらの要点と薬剤師としての見解を添えて医師に文章で報告します。高齢者の状況は日々変化する為、なるべく訪問診療直近の情報を提供するように努めています。

訪問診療時は、医師や看護師がカルテ等に記載する手間と時間を省けるように、薬剤師が医師の分も診療結果を用紙に記入します。

また、薬の変更時に、医師から助言を求められた場合は、用量、用法、剤形等、提案をします。他の定期薬と日数が合うようにその場で処方日数も提案します。

診療終了時には、施設の看護師、介護士が、流れの速い診察についていけず、内容をよく理解していないことが多いため、薬の変更点、変更理由、変更開始日等を説明します。

薬を薬局でセットし、薬情、お薬手帳と共に施設に持っていき、再度説明します。その際、薬の変更に伴う注意点や観察して欲しい点等を伝えます。

その後は、施設訪問の都度、薬剤変更患者や体調が不安定な患者を中心に、看護師、介護士、患者に聞き取りや観察をし、次の報告書に経過を記載できるようにします。

報告書の内容

通常の報告書の他に、訪問診療時や患者との会話や観察から、認知症状やうつ症状が気になった時などは、長谷川式スケールやコウノメソッドにあるレビースコアやバランス8を実施し、併せて報告をしています。この報告を基に医師が処方薬を検討します。

参考)

[バランス 8]

うつ病を疑う質問

【既往】若い頃、うつ病でなかったか

【家族】親戚でうつ病、自殺者はいないか

何をやってもおもしろくないか迷子になったことはないか

寝られるか

頭痛はないか
食欲はあるか
朝調子悪いか
ひどい便秘ではないか

認知症を疑う質問

【既往】 頭部打撲、脳卒中、せん妄
改訂長谷川式スケールの実施
迷子になったことはないか、万引きはないか
怒りっぽくなったか
仕事、家事のミスはないか
幻覚、妄想はないか
トイレは間に合うか、夜間頻尿は？
自分は記憶力に問題ないと思うか

上記の得点が多い方が主体、同点ならばうつ病を伴う認知症と判断。

[レビースコア]

薬剤過敏性（風邪薬などが効きすぎたこと） 2
幻視(2点) 妄想（人がいるような気がする） (1点) 2
意識消失発作（明らかなたんかんは除く） 1
夜間の寝言(1点) 叫び(2点) 2
嚥下障害（食事中にむせるか） 1
趣味もない病的なまじめさ 1
日中の嗜眠、1時間以上の昼寝 2
安静時振戦 1
歯車現象(2点) フェーストリジッド(1点) 2
体が傾斜することがあるか(2点) 軽度(1点) 2

フルスコア 16点 3点以上は90%がレビー小体型認知症。

コウノメソッドより引用

また、新規や退院された患者さんが持参した際は、施設の薬箱にセットを行い、他の入居者さんと定期薬の日数が合うように、次回の定期薬の処方日数を医師に報告します。これらを行った際は、処方薬が無くても居宅服薬管理指導を算定しています。

同じ医師が訪問診療を行っている患者さん全ての定期薬の日付が合うことは、調剤、管理、服薬指導を楽にするだけでなく、医師も一人一人の定期薬の始まりを覚える必要がなく明確なので、薬の変更、追加等の処方指示がスムーズになります。

具体例)

大正 12 年生まれ 91 歳 女性 施設入居 3 カ月

施設での様子

入居当時から、補助具なしでフロアーを徘徊し、お嫁さんの名前を常に呼び続けた。居室に戻っても、すぐにドアを開けて呼び続けた。まだ施設に慣れられていないことが原因と考え、介護力に任せ、薬変更なく do 処方をしていた。

入居後 2 か月が経ち、施設には慣れたが、徘徊や常に誰かを呼び続ける行為に変化はない。また、落ち着いて過ごすことができない為、ゆっくり休むことができず絶えず叫んで動いている。顔や手の浮腫が目立つようになった。

薬の変更が必要ではないかと考え、医師に処方変更を提案した。

H27.8.18 処方内容

ファモチジン D 錠 20mg 1 錠

バイアスピリン錠 100mg 1 錠

ニセルゴリン錠 5m g 1 錠

分 1 朝食後 14 日分

パンテチン散 20% 1.5 g

酸化マグネシウム 0.75g

分 2 朝昼食後 (2 : 1) 14 日分

リスペリドン錠 0.5mg 2 錠

セレコックス錠 100m g

分 2 朝夕食後 14 日分

チアプリド錠 25m g 2 錠

分 1 夕食後 14 日分

H27.8.31 報告書内容

入居当初から居室から常にスタッフを呼ぶ叫び声が聞こえてきます。落ち着きもなく、補助具なしでフロアーを徘徊されることが多く、転倒の危険性も高いです。脳循環賦活剤として現在服用中の「ニセルゴリン錠」ですが、効果があまりないように感じます。「リバスタッチ 4.5mg」等に変更した方が宜しいでしょうか。ご検討を宜しくお願い致します。尚、処方日数は訪問診療時からの変更でしたら、17 日分をお願い申し上げます。

また、顔や手に浮腫がみられます。現在「セレコックス錠」を服用中ですが、動きに制限がなく、痛みの訴えもございません。浮腫の原因の可能性も考えられますので、中止のご検討を宜しくお願い致します。

脱肛による痛みがございます。「協力ポステリザン軟膏 2g × 14 個」を用いて処置して

おりますので、ご処方を宜しくお願い致します。

今後、改善等がみられなければ、「リスペリドン」「チアプリド」変更の検討もしていきたいと思います。ご教示を宜しくお願い申し上げます。

H27.9.1 訪問診療後の処方内容

ファモチジン D錠 20mg 1錠

バイアスピリン錠 100mg 1錠

分1 朝食後 14日分

パンテチン散 20% 1.5g

酸化マグネシウム 0.75g

分2 朝昼食後(2:1) 14日分

リスペリドン錠 0.5mg 2錠

分2 朝夕食後 14日分

チアプリド錠 25mg 2錠

分1 夕食後 14日分

リバスタッチ 4.5mg 17枚

1日1枚貼付

強力ポステリザン軟膏 28g

1日1本 肛門に塗布

H27.9.14 報告書内容

「セレコックス錠」中止後も、痛みの訴えや動作に変化なく問題ございません。また、顔や手の浮腫は少し軽減しております。

「リバスタッチ 4.5mg」に変更後、胃腸障害や易怒性等の副作用なく使用中です。効果の方は、まだ実感できておりません。徘徊や叫び続ける行為は続けております。

前回ご提案させて頂きました「リスパダール」「チアプリド」の効果不足による薬剤変更ですが、同様の患者様で「ウインタミン細粒」が著効した症例がございます。初回は、少量の「ウインタミン細粒 10% 0.15g 毎食後」から開始が良いかと思っております。ご検討を宜しくお願い致します。訪問診療時からの変更でしたら、17日分をお願い致します。

肛門のただれは、脱肛の為、下着との摩擦があり症状が続きます。継続して塗布しておりますので、今回も「強力ポステリザン軟膏 2g×14本」のご処方を宜しくお願い致します。

H27.9.15 訪問診療後の処方内容

ファモチジン D錠 20mg 1錠

バイアスピリン錠 100mg 1錠

分1 朝食後 14日分

パンテチン散 20% 1.5g

酸化マグネシウム 0.75g

分2 朝昼食後 (2:1) 14日分

ウインタミン細粒 10% 0.15g

分3 毎食後 17日分

リバスタッチ 4.5mg 14枚

1日1枚貼付

強力ポステリザン軟膏 28g

1日1本 肛門に塗布

H27.10.5の訪問診療前の報告書

「リスパダール」「チアプリド」から「ウインタミン細粒」に変更して頂き、別人のように穏やかに過ごされております。居室から叫び声はなくなり、フロアを徘徊することもなくなりました。夜間も良眠でき、朝はすっきりした顔をされております。食事も落ち着いて自分で全量摂取できるようになりました。傾眠を懸念し施設スタッフとの話し合いで、朝食後の「ウインタミン細粒」を中止し、「ウインタミン細粒 10% 0.1g 昼夕食後」で服用しております。定期薬の変更を宜しくお願い致します。

「リバスタッチ 4.5mg」は、増量の時期となりましたが、現在穏やかにお過ごしですので、用量維持でも良いかと思われれます。ご教示を宜しくお願い致します。尚、保険適応では維持量が18mgと記載がありますので、処方箋には「副作用あり減量」とコメントを入れて頂けると問題ないかと思います。宜しくお願い致します。

脱肛に変化はありません。引き続き「強力ポステリザン軟膏 2g×14個」のご処方を宜しくお願い致します。

H27.10.6訪問診療後の処方箋

ファモチジン D錠 20mg 1錠

バイアスピリン錠 100mg 1錠

分1 朝食後 14日分

パンテチン散 20% 1.5g

酸化マグネシウム 0.75g

分2 朝昼食後 (2:1) 14日分

ウインタミン細粒 10% 0.1g

分2 昼夕食後 14日分

リバスタッチ 4.5mg 14枚

副作用あり減量

1日1枚貼付

強力ポステリザン軟膏 28g

1日1本 肛門に塗布